

## 政策評価調書(26年度実績)

政策名	ツーリズムの展開	政策コード	Ⅱ-3	関係部局名	企画振興部
-----	----------	-------	-----	-------	-------

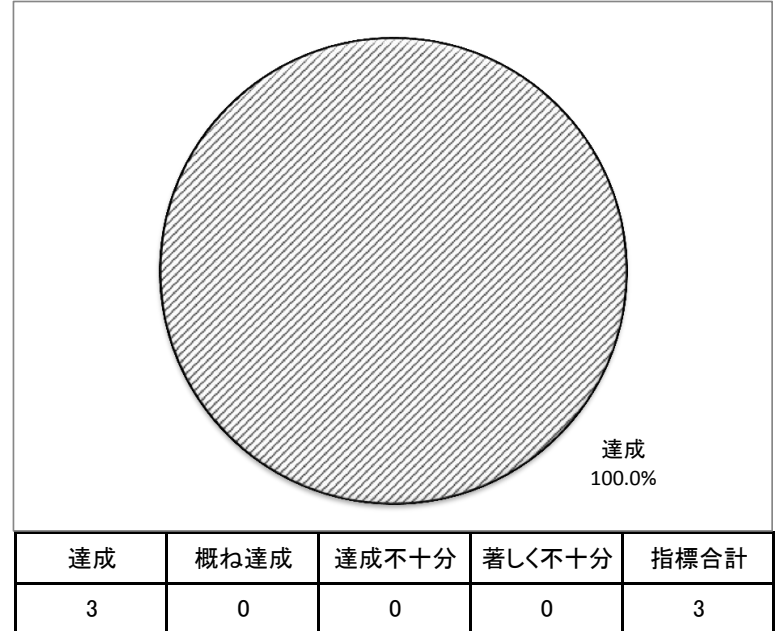
### 【Ⅰ. 政策の概要】

自然、温泉、歴史、文化、産業、グルメ等のすぐれた地域資源の戦略的な売り込みや、観光客ニーズに適合する旅行商品の開発、観光ボランティアガイドの育成、九州新幹線等を活用した広域観光ルートの形成などを進める。

### 【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	観光と地域づくりを一体とするツーリズムの推進	達成	A

### 【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



### 【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

訪日旅行者数は円安や発給要件の緩和等により、2014年には過去最高の1,341万人を記録するなど急速に増加しているが、今後ラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック・パラリンピック大会など世界の関心が日本に寄せられるなか、ますますの誘客を促進するためには、観光産業において、情報発信と受入態勢の整備が課題である。また、年々増加している個人旅行など、多様化する旅行ニーズに対応した観光メニューの開発や情報提供が求められている。

より多くの観光客に訪れてもらうためには、日本一の温泉や素晴らしい食の魅力をはじめ、地域の特徴ある観光素材の発掘と磨きを継続することが必要である。加えて、訪れた観光客の満足度を高めるためには、ふるさとガイドの活用や、観光を第一線で支える人材の育成と次代のツーリズムを担うリーダーの育成が不可欠である。さらに、観光客に気持ちよく周遊してもらうためには道路の環境整備などおもてなしの向上も重要である。

日本最大規模の観光宣伝・誘客キャンペーンである「おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン」を契機に、県観光をさらに飛躍させることが求められている。

### 【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	-